

交付運用報告書

インド株式集中投資ファンド

追加型投信／海外／株式

作成対象期間（2016年10月26日～2017年4月25日）

第5期（決算日 2017年1月25日） 第6期（決算日 2017年4月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インド株式集中投資ファンド」は、このたび第6期の決算を行いました。

当ファンドは、インドの取引所に上場している株式等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目指します。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第6期末（2017年4月25日）	
基準価額	10,379円
純資産総額	428百万円
第5期～第6期 （2016年10月26日～2017年4月25日）	
騰落率※	9.1%
期中分配金合計	300円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

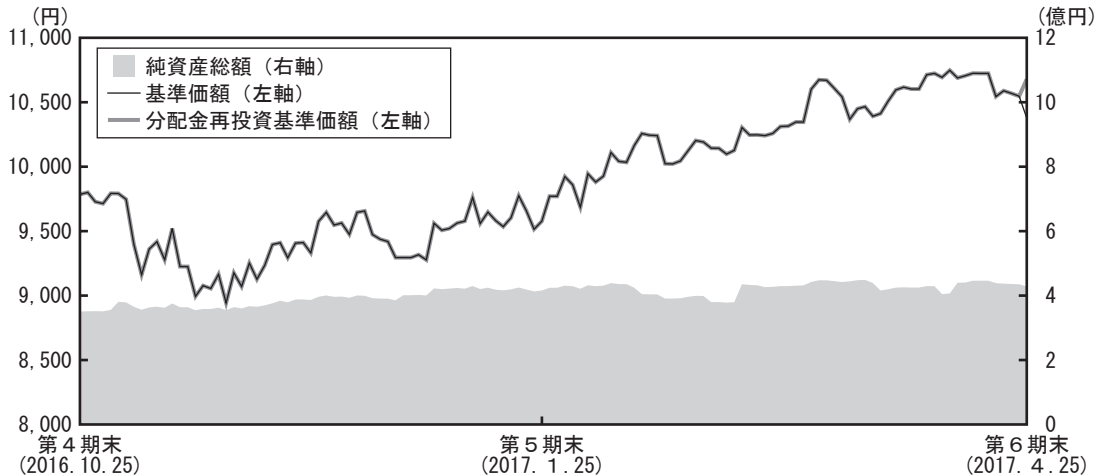
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第5期首：9,785円

第6期末：10,379円（期中分配金合計300円）

騰落率：9.1%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年10月25日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、「GAM スターファンドp.1.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「GAM スターファンドp.1.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」の基準価額が上昇したことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。「GAM スターファンドp.1.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」については、インド株式市場の上昇がプラスに寄与しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第5期～第6期		項目の概要
	(2016年10月26日～2017年4月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	60円	0.608%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,885円です。
（投信会社）	(21)	(0.215)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(37)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(0)	(0.000)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	60	0.609	

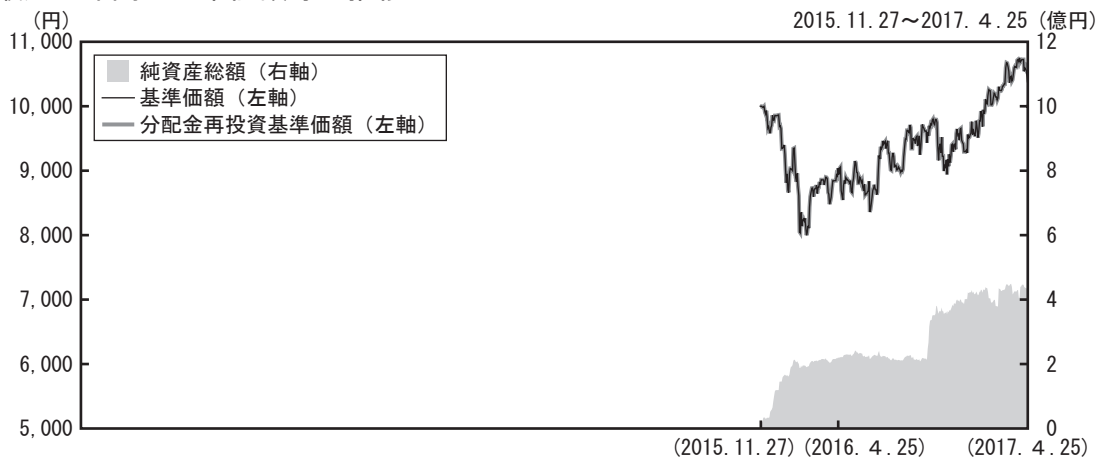
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、「GAM スターファンドp. l. c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2015年11月27日 設定時	2016年4月25日 決算日	2017年4月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,038	10,379
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	300
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△ 9.6	18.2
純資産総額	(百万円)	18	220	428

■投資環境

○インド株式市場

当期のインド株式市場は、期初は下落して始まったものの、その後は上昇基調が続きました。

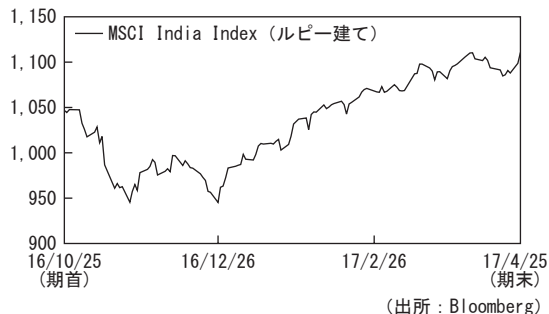
11月上旬にインド政府が経済の健全化を目的として高額紙幣の廃止を発表したことで、消費への短期的な影響や経済の混乱が懸念され、株式市場は大きく下落する展開となりました。

12月下旬以降は、高額紙幣廃止による景気への影響が懸念されたほどではないとの見方が徐々に広まったことや、3月には注目されていたGST（物品・サービス税）法案が審議会で承認されたことに加えて、地方議会選挙において与党が大勝したことで Modi 首相の政策が信任された形となり、政治的な安定性の高まりを背景に構造改革がさらに進展すると期待されたことなどから、株式市場は堅調な推移が続きました。

○為替市場

当期の為替市場では、11月に行われた米国大統領選挙の結果を受けて米国金利が上昇しドル高円安が進んだことで、インドルピーは対円で上昇する展開となりました。その後は、地方議会選挙の勝利や構造改革の進展などが評価され対ドルではルピー高となった一方、円が対ドルで円高となったことから、インドルピー・円は狭いレンジでの推移が続きました。

主要株価指数の推移



為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて「GAM スターファンドp.l.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」の投資比率を概ね高位に維持しました。期末の組入比率は94.9%です。

(GAM スターファンドp.l.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス)

割安かつ高成長が期待できる銘柄に集中投資することにより、リターンの上昇を図りました。

ポートフォリオにおいては、期を通じて金融サービス会社のBajaj Finance、医薬品メーカーのSun Pharmaceutical IndustriesやGlenmark Pharmaceuticals、商業銀行のYes Bank等の組入を比較的高位に維持しました。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

金利戦略は、景況感の改善と日銀の追加緩和観測の後退により、主に11月以降は超長期ゾーンをアンダーウェイトするショートデュレーション戦略を取りました。債券種別戦略は、非国債をオーバーウェイトする戦略を継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「GAM スターファンドp.l.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市場動向等を勘案し、合計で300円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第5期	第6期
	2016年10月26日 ～2017年1月25日	2017年1月26日 ～2017年4月25日
当期分配金	—	300
(対基準価額比率)	—%	2.81%
当期の収益	—	300
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	291	763

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

(インド株式集中投資ファンド)

今後も、「GAM スターファンドp.l.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の成長を目指します。

(GAM スターファンドp.l.c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス)

構造改革の目玉であったGST(物品・サービス税)法案が承認され7月から導入される予定となりました。これにより事業環境がさらに改善し新しいビジネス機会が生まれることが期待され、海外からの資金流入は大きく回復・増加しています。政府はインフラ整備や農村への支援拡充など景気に配慮した予算を組んでいるほか、今後も大規模な構造改革の実施や、中央銀行による利下げが見込まれ、株式市場を下支えするものと考えられます。当ファンドでは、引き続き割安かつ高成長が期待できる銘柄に集中投資することにより、リターンの上昇を図っていきます。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド)

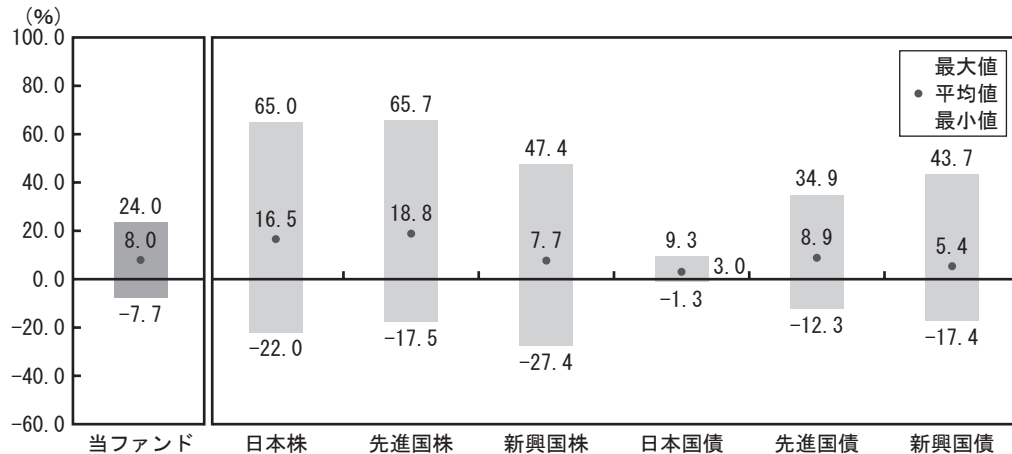
金利戦略については、相場環境に応じてカーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。債券種別戦略については、現在の非国債をオーバーウェイトする戦略を継続する方針です。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年11月27日から2021年1月25日まで	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目指します。	
主要投資対象	インド株式集中投資ファンド	投資信託証券
	GAM スターファンド p.l.c - GAM スター インド エクイティ 日本円シェアクラス	インドの取引所に上場している株式等
	損保ジャパン日本債券 マザーファンド	日本の公社債
運用方法	<p>①インドの取引所に上場している株式等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目指します。</p> <p>②インドの取引所に上場している全銘柄の中から、厳選された銘柄へ集中投資を行います。ポートフォリオは、「優良成長」銘柄と「ディープバリュー」銘柄で構成されます。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



期間：当ファンド 2016年11月～2017年3月
 代表的な資産クラス 2012年4月～2017年3月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

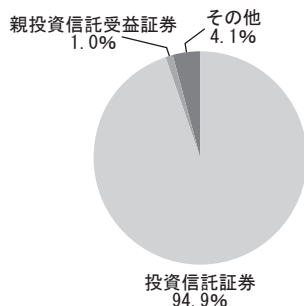
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

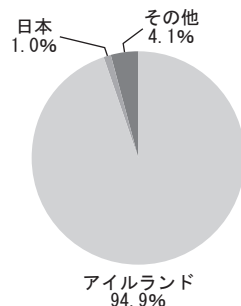
	第6期末
	2017年4月25日
GAM Star Fund plc-GAM Star India Equity-I Shares JPY Class Acc	94.9%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.0%

(注) 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第6期末における純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

■純資産等

項目	第5期末	第6期末
	2017年1月25日	2017年4月25日
純資産総額	415,880,633円	428,289,674円
受益権総口数	434,241,974口	412,631,881口
1万口当たり基準価額	9,577円	10,379円

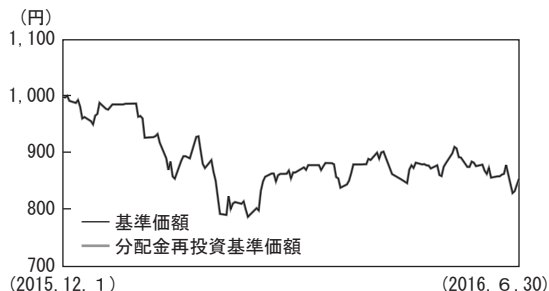
※当作成期間（第5期～第6期）中における追加設定元本額は209,692,114円、同解約元本額は155,421,312円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<GAM スターファンドp. l. c - GAM スターインディア エクイティ 日本円シェアクラス>

○基準価額の推移



- ・基準価額は、インド株式集中投資ファンドの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- ・分配金再投資基準価額は、2015年12月1日の基準価額に合わせて指数化しています。

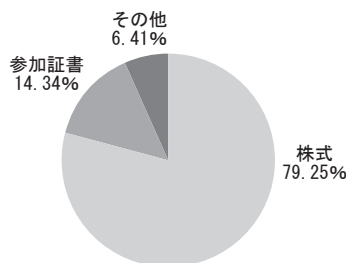
○組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	Sun Pharmaceutical Industries Ltd	7.99%
2	Bajaj Finance Ltd	7.44%
3	Yes Bank Ltd	6.20%
4	Glenmark Pharmaceuticals Ltd	5.70%
5	Reliance Industries Ltd	5.54%
6	Dr Reddy's Laboratories Ltd	4.72%
7	KPIT Technologies Ltd	4.49%
8	Bajaj Finserv Ltd	4.46%
9	ICICI Bank Ltd	4.21%
10	Tata Motors Ltd	4.17%
組入銘柄数		23銘柄

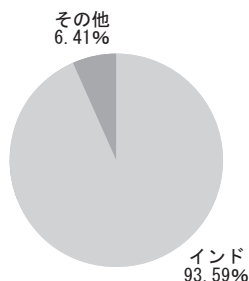
○1万口当たりの費用明細

当該期間（2015年7月1日～2016年6月30日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

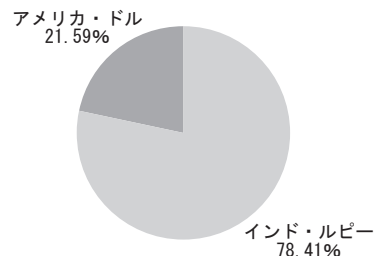
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



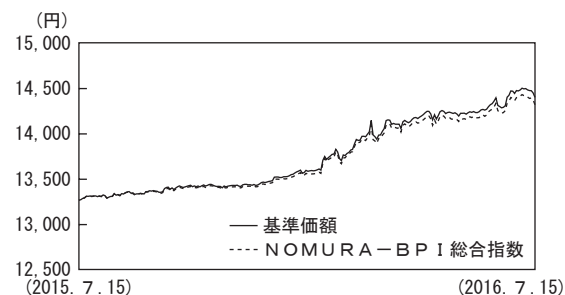
(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2016年6月30日）現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注3) 資産別配分および国別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳し作成したものです。組入上位10銘柄および通貨別配分は、GAM インターナショナル マネジメント リミテッドおよびニュー ホライズン ウェルス マネジメント プライベートリミテッドが作成したデータを掲載しています。

<損保ジャパン日本債券マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合指数）の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○組入上位10銘柄

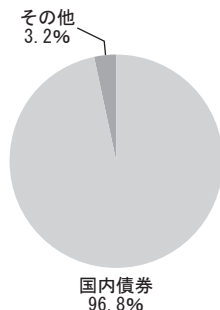
	銘柄名	債券種類	償還日	比率
1	365 2年国債	国債証券	2018/6/15	12.6%
2	342 10年国債	国債証券	2026/3/20	5.2%
3	341 10年国債	国債証券	2025/12/20	5.0%
4	157 20年国債	国債証券	2036/6/20	4.9%
5	363 2年国債	国債証券	2018/4/15	4.9%
6	152 20年国債	国債証券	2035/3/20	4.5%
7	151 20年国債	国債証券	2034/12/20	4.5%
8	156 20年国債	国債証券	2036/3/20	4.1%
9	100 20年国債	国債証券	2028/3/20	2.9%
10	150 20年国債	国債証券	2034/9/20	2.8%
組入銘柄数			64銘柄	

○1万口当たりの費用明細

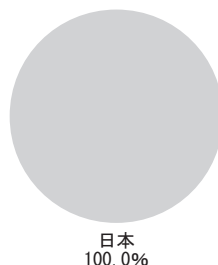
(2015年7月16日～2016年7月15日)

項目	
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年7月15日）現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 指数に関して

○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時 (1968年1月4日終値) の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数 (TOPIX) は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント